

文部科学省大臣官房国際課長挨拶

芝田 政之
(文部科学省大臣官房国際課長)



皆さん、こんにちは。私からはごく簡単に御挨拶を申し上げまして、具体的なことはこのあとのプログラムに委ねたいと思います。

文部科学省では、JICA、外務省、教育委員会などと協力しまして、教員の皆様が国際協力活動に参加しやすいように平成13年度にこの青年海外協力隊現職教員特別参加制度を設立いたしました。以来7年間で516名の現職職員の方が世界各地に派遣され、活躍されています。今年度は日系社会青年ボランティアの派遣が開始されて、青年海外協力隊として72名、日系社会青年ボランティアとして11名の合計83名の方々が派遣されることになっています。先生方には本研修を通じまして、現地での活動のアイデアなどを収集すると共に他の先生方との交流を深めていただきまして、未永く将来も情報交換ができるような仲間の輪を作っていただきたいと思います。

人間は異文化との接触を通じて飛躍的に成長するといわれております。先生方が開発途上国において、様々な障壁を克服しまして国際協力に携わることにより、貴重な体験をまた教育現場に持ち帰っていただきたいと期待しております。また同時に、皆様若い方々ばかりでありますけども、こうして新しいチャレンジに取り組んでそこを伝えていくという姿勢に、深い敬意を表したいと思います。若い時の特権であろうかと思っておりますので是非素晴らしい経験を蓄えて帰ってきていただきたいと思っております。

文部科学省では開発途上国における教育協力を一層効果的なものにするために、大学が有する「知」を活用していただく国際協力イニシアティブという事業を実施しております。この枠組みの中で青年海外協力隊、あるいは日系社会青年ボランティアとして派遣される現職教員の皆様の派遣前から帰国後までの活動の支援を行っております。具体的な支援内容は明日の研修で、事業に協力をいただいている大学の先生方による実習がございますので、そちらにお任せしたいと思っておりますが、協力大学はこれまでの研究活動の中で培った発見をいかして、青年海外協力隊員として派遣される先生方が現地で活用できる教材を開発したり、あるいは活動中の隊員向けに現地でワークショップを開催したり、相談を受け付けるといった事業を実施しております。協力大学の関係者の方々が皆さんの派遣先を訪問された時には、ぜひ時間の許す限りワークショップをのぞいていただくとか、あるいは教育協力活動実施にあたって困っていることを相談していただくといったことで、お互いに連携していただければと思っております。最後になりましたけれども本研修の実施にあたり、多大な御支援をさせていただいております、JICA 海外青年協力隊事務局および筑波大学教育開発国際協力研究センターの関係者の皆様方に深く感謝を申し上げるとともに、どうぞ皆様方にとって、この研修が有意義なものになりまして、そして二年間貴重な経験を積まれるよう、また一回りも二回りも成長されてお帰りになりますようにお祈りいたしまして、御挨拶とさせていただきます。どうぞよろしくお願いたします。

「国際協カイニシアティブ」教育協力拠点形成事業

開発途上国における開発協力のため、大学・NGO等、我が国の教育関係者等が有する教育研究上の知識や経験を整理・蓄積するとともに、我が国の知見を踏まえた開発協力モデルの構築などを行うことにより、国内外の援助関係者が開発協力の現場で容易に活用可能かつ活用効果の早期発現が期待できる成果群を形成することを目的とする。

教育研究に関する 我が国の経験の活用

基礎教育および高等教育を対象とする。

- ・教育研究に係る我が国の知識や経験の整理・蓄積、理論化やモデル化、実証を通じた開発協力モデルの構築
- ・援助リソース（高度人材育成機能や研究成果等）の把握とNGO等を含む援助機関との連携体制の構築

【活動例：基礎教育や高等教育の対象分野】

- ◆教育行財政
- ◆教員研修
- ◆学校保健教育
- ◆食農環境教育
- ◆女子教育
- ◆ライフスキル教育
- ◆教育改善 等

青年海外協力隊 派遣現職教員の支援

小学校教諭、理数科教師、養護、体育の4職種で派遣される教師の活動支援を主な対象とする。

- ・派遣現職教員の派遣前や派遣中の活動を対象にした教育的観点からの支援
- ・帰国現職教員が実施する総合的な学習（国際理解教育や環境教育等）ほか教育関連の活動を対象にした支援

【活動例：派遣現職教員が現地で担当する主な活動分野】

- ◆理科実験
- ◆図工
- ◆保健衛生
- ◆音楽
- ◆体育
- ◆学校行事・特別活動 等

成果品関連アーカイブスの管理

事業全体に係る成果品の収集と管理、関連資料の収集と管理、広報等の実施を担当する。